

# KGA

'97春季号  
1997年5月1日発行



NO.58

## 目次

総会	1
KGAレポート	5
——あなたのハンディキャップは正しいですか?——	
ジュニアスクール「梅檀は双葉より芳し」	9
体協委員会レポート	12
——「団体」はどのように開催されるか?——	
新規加盟倶楽部紹介	15
総会・理事会・分科委員会	20
月例競技成績表	27
お知らせ	28

表紙Photo 筑波カントリークラブジュニア教室(撮影・片山晴美/KGA広報委員)

 関東ゴルフ連盟

総会

## 総会

平成8年度第49回通常総会が平成9年2月20日開催されました。出席者は委任状を含めて344倶楽部、全議案が満場一致で承認可決されました。今号では、当日、細川理事長と中井副理事長より示された活動方針、予算編成基本方針を収録いたします。



細川理事長 9年度活動方針

関東ゴルフ連盟は現在、1都10県474倶楽部を擁する大組織となりました。

多くの先達のゴルフへの情熱と尽力が、組織の拡大、事業の多面化をもたらしてくれました。このことは、日本ゴルフ界における関東ゴルフ連盟の存在感を大きくし、私たちの活動に対する期待感を増し、同時に厳しい批判の対象ともなり得ることを意味しております。

今、KGAは組織上、一つの重要な選択を迫られ、岐路に立たされております。いわゆる“体協問題”より生じたものであります。

これまでのKGAは極論すればゴルフの愛好者——それも加盟倶楽部会員——のための組織であって、その目的、理想とするところはよりゴルフを楽しくプレーするための諸活動を行うことでした。

しかし、上部団体の日本ゴルフ協会が財團法人となり、日本体育協会に復帰加入した現在、下部団体である関東ゴルフ連盟にも、公益法人的活動

が要請されてまいります。

申すまでもなく、公益とは不特定多数の利益実現を目的とするものであり、特定団体の構成員のみを対象とする活動は許されません。

一方、JGAが公益法人化しても、KGAはあくまで、加盟倶楽部を中心とする任意団体としての道を歩む選択をすることは、今もって可能であります。どちらの道を選ぶかによって、組織のあり方、事業計画、内容、財政等は自ずと異なったものになることは論を待ちません。

この組織の根幹にかかる選択は同時に、加盟倶楽部とKGA、地区連盟とJGAの新しい関係を構築することを意味しております。「新たなKGAの組織のあり方」を検討すべき時であると申せましょう。

この問題につきましては、第二次特別委員会より「答申」をいただいておりますが、それを基に常務理事会、理事会、関係委員会にて先ずは論議し、具体案をもって皆様にご提案し、ご意見をいただか考でております。

次に、苦境にたたされているゴルフ界に触れたいと思います。



ゴルファーとゴルフ場は不即不離の関係にあることは言うまでもありません。かなりのゴルフ場が長びく経済不況の波をもろにかぶり、経営難に立たされておりますが、私たちゴルフ愛好者の団体であるKGAはあくまでゴルファーの立場から、手をこまねくことなく、具体的な活動を行うことが必要とも考えます。

とはいっても、KGAの生い立ち、組織原理から考えて即効的な具体策を持ち合わせていないことも、残念ながら事実であります。

ここは、迂遠な方法と映るかもしれません、まずは組織の拡大、強化、整備を図り、全体としてのゴルフ振興策に取り組むことが必要ではないでしょうか。誰でも参加できる競技の新設、JGAハンディキャップの普及、ジュニアゴルフ育成など、一つのゴルフ倶楽部、一地区では成し得ないことをKGAが実行し、ゴルフ界全体の繁栄に努めることが私たちの責務であると考えます。

のために大事なことは、後刻選任される新常務理事、理事、分科委員、つまり新執行部の諸氏が、一致団結して山積する難問に当たらなければならぬことです。その解決に当たっては、素早く、的確に対応することも必要であります。つまり強力な指導力と、実行力をもつ新執行部であることが期待されます。

とはいっても、独善的であってはなりません。会員倶楽部である皆様の意見、提案を真摯に受けとめ、決断し、実行することが肝要であります。

そして、日本ゴルフ協会を中心として、ゴルフ関連団体が大团结して英和を集めてこそ、この難題を切り抜けることが可能と考えます。

次に、8年度事業報告に移ります。詳細はお手元の報告書のとおりでございますが、加盟倶楽部関係者と分科委員諸氏のご協力、ご尽力により所期の目的を達成することができました。

とくに関東オープンにつきましては、8年度より開催方式を新たにして開催いたしましたが、フォレストゴルフクラブ、及び新潟県ゴルフ連盟の多方なご協力を得て、成功裡に終了することができました。

ご高承のように當面、平成10年度まではこの開催方式にて行うことを昨年度の総会にて決議しておりますが、平成11年度以降につきましては、さらに活性化すべく、関係委員会にて鋭意検討中であることを併せてご報告いたします。



中井副理事長 9年度予算編成基本方針

9年度の予算編成にあたっては、各分科委員会との協議、第二次特別委員会「答申書」を基に行いました。

ただし、平成8~10年度については、第一次特別委員会の「答申」を採択し、「必要不可欠」と考えられる事業を除き、新規事業については、手をつけないことを決定しておりますので、9年度予算は昨年と同規模のものとなっております。

しかし、第二次「特別委員会」の「答申」にありますように、また、細川理事長が先刻のべられましたように、日本ゴルフ界は今、変革期を迎えております。そのため私たちは、明日の「KGAのあるべき姿」を念頭に置きながら、基本作業にとりかかり対応策を講じなければなりません。

具体的に申しますと、私たちが先ず取りかからなければならないのは、組織の強化、拡大、整備であります。

現在、KGAの加盟倶楽部数は1都10県474（含準会員4）であります。自治省の定義によるゴルフ場数は854であります。したがって加盟率は55%にすぎません。ちなみに全国ゴルフ場数は、2,273、JGA加

盟数は1,506となっており、加盟率は66%であります。

ご高承のように、平成8年には、規約改正を行い準会員制度もとり入れました。皆様の周辺の未加盟ゴルフ場には、ぜひとも加盟勧誘をお願いしたいと思います。

この加盟倶楽部数の増加は単に財政面の強化だけではなく、各地において活動している、さまざまの団体と連繋する際にKGA加盟倶楽部が、その中心的存在となることを意味しております。「答申書」にその具体策として、KGA支部設置が提案されてあります。その是非につきましては、本総会にて選任される次期常務理事会、理事会にて論議決定し、皆様に提案することになりますが、具体案の策定につきましては、ひきつづき特別委員会的セクション（組織委員会）を設け諮詢することを考えております。

結論によっては、平成11年度を待つことなく、ただちに実行すべき重要事でありますので、その場合は、必要経費を予備費より充当することを考えております。

次に、私たちが、取り組むべき課題は「魅力あるKGA」作りであります。

各都県代表者会議において必ず問われるのが「加盟しているメリット、加盟するメリット」であります。平たく申しますと「年会費に見合うメリットは何か」ということになりますが、不況になればなるほどこの声は大きくなります。この問い合わせに対するお答えは細川理事長の基本方針にある「一つのゴルフ倶楽部」「一地区」では成し得ないことをKGAが実行し、ゴルフ界全体の繁栄に寄与することにあると考えます。

迂遠な方法、言葉に映るかもしれません。しかし、KGA、JGAは他団体と協力して、さまざまなゴルフ環境の改善、振興策に努力しております。

具体的に申しますと

#### 1. 税金問題であります。

ご承知のように、昨年度、国体正式種目化を機に一部の競技ではありますが、利用税の減税をかちとることができました。以前、細川理事長が日本オープン表彰式において「スポーツに課税する

のは非文明国」と発言し、大反響をまきおこしましたが、JGA、KGAの税対策委員会が永年にわたり地道な活動を行い、一定の成果を得ることができました。ひきつづき、固定資産税、地価税等につきましても関連団体と協同しながら、活動を行うことになっております。

#### 2. 次に自然環境問題であります。

いわゆる農薬問題につきましても、日本芝草開発研究機構と協同して芝草管理技術者の育成指導にとりくんでまいりました。現在、関東地区では、1級資格者6名、2級315名、3級1,607名の人達が日々ゴルフ場の管理業務に従事し、ゴルフ場の自然保护、環境改善に取り組んでおります。

#### 3. ジュニアゴルファー育成活動

どのスポーツでも、その発展、振興にジュニア育成は欠かせません。私たちは、ゴルフ振興策の一環として、この育成活動にとりくんでまいりました。このことは、KGA、JGA加盟倶楽部全体で実行しなければなりません。ここで育成されるジュニアゴルファーは、いずれ皆様のゴルフ場に戻ってくる大切な雛鳥であります。

#### 4. 最後に「会員権問題」に触れたいと思います。

この問題は、KGAにとって、まさにやっかいな問題であります。組織原理から考えますと、もっとも馴染まないことかもしれません。しかし、これも細川理事長が先刻、申し述べられましたように「ゴルフ場とプレイヤーは不即不離の関係」にありますから、他人事として放置できない問題であります。また、これこそ一地区連盟では対処しきれない複雑な問題であります。

そのため、この1月にゴルフ関連団体協議会（ゴ連協）に「会員権問題研究会」が設置されました。日本ゴルフ協会、日本ゴルフ場事業協会、ゴルファーの緑化促進協力会より委員が選任され、（JGAより古賀、松浦、内田氏）各々の立場から問題を研究し、対策を講じようとするものであります。もちろんJGAはゴルファー（ユーザー）の保護、救済策を考える立場から参加しております。

KGAとしても、その動向に注目し、できることから可能な限り協力したいと考えております。

以上は、地区連盟としてのKGA活動の一端を述べましたが、中央スポーツ団体としてのJGAは、例えば、ルールの制定、JGAハンディキャップなど、ごく日常的に皆様のゴルフ場でのプレーに際し、絶対に必要なことを統括していることを申しそえます。

このように、KGA、JGAはあたかも空気や水のような存在として、とかく忘れがちですが、重要な活動をしていることをご認識いただきたいと考えます。

次に考えるべきは、皆さんのゴルフ俱楽部の構成員であるメンバーにとって“KGAは魅力ある存在か、メリットはあるか”、この際に所見を述べたいと思います。

反省すべきは、これまでのKGA、JGAはいわゆるスクラッチプレーヤー中心の諸活動に終止してきたことであります。団体の正式種目化が象徴しているように“国民スポーツ”“生涯スポーツ”としてのゴルフを国が認定してくれたわけですから、これからは、全ゴルファーを対象とした諸活動を展開すべき時期と言えましょう。

これまで、ゴルファーと言えば、必ずどこかのゴルフ場のメンバーであります。しかし、現況は、ゴルファー総数1,500万とも1,800万とも言われております。その中、俱楽部メンバーであるゴルファーは150万人、関東地区は50~70万人と推測されております。

私たちは徐々に、全ゴルファーを対象とする活

動を行うことが要求されております。

一例をあげてみますと、アンダーハンディキャップゴルフ選手権—KGA杯—は、この目的にかなった好企画と自負しております。JGAハンディキャップ所有者なら、誰方でも参加できる競技は、まさに、時期を得たものと考え、これからKGA主催競技の大きな柱としたいと考えております。また、あらゆる年代のゴルファーが参加できるよう、今年は30歳以上の社会人（男女）を対象とした、ミッドアマチュアゴルフ選手権を新設しました。

JGAハンディキャップの啓蒙促進も重要事であります。近い将来、希望者は誰でも取得できる体制をとりたいと考えております。

以上のことを実行するには、組織問題、財政問題等、これから数々のフェンスを乗り越える必要があります。

私たちは“KGAの活性化”は、“日本ゴルフ界の活性化”とイコールであると確信しております。

そのために、先刻細川理事長が述べられた活動方針に従い、私たち執行部は方向性を示し、皆様からの意見、提案に真剣かつ謙虚に耳を傾け、議論し、決断し、実行したいと思います。

具体的な活動方法は、第一次、第二次特別委員会の「答申」に応えるべく、新たに組織委員会、分科委員長会議を新設し、ただちに取り組むつもりであります。

皆様のご協力、ご尽力を心からお願いいたします。



写真・石川博英（KGA広報委員）

## あなたのハンディキャップは正しいですか？ — KGA月例競技参加者に見るクラブハンディキャップ問題 —

イラスト・山県和彦

関東ゴルフ連盟月例委員会では、平成5年4月より、月例競技の参加全選手をグリーンシステム（※1 7頁参照）に登録し、JGAハンディキャップ査定を行ってきました。

JGAハンディキャップ規定では、ご承知のように過去3年以内にJGAコース・レーティングのある全ゴルフ場（1,609俱楽部あります）でプレーしたスコアが査定対象となります。そして、提出されたスコアカードをもとに、ストロークコントロールを行い、ベストディファレンシャルカード10枚の平均の96%の数値をもってJGAハンディキャップとしております。

しかし、月例競技は年11回開催のため、過去3年に提出スコアカードを限定すると、枚数が20枚になる選手が、少なくなるため、今回は、3年に限定せず、過去の全てのスコアカードを、計算の対象としました。

しかし、参加者は関東を代表する男女トップアマチュアであり、公式競技である月例では、自ずと普段のプレーとは違って、真剣そのものですから、正確な査定がされたものと考えられます。

この4年間の査定対象数は、男子195名、女子117名でした。

### ●スコアカード枚数

	男 子	女 子
スコアカード20枚以上	59名(30.3%)	22名(18.8%)
5枚～19枚	89名(45.6%)	69名(59.0%)
5枚未満	47名(24.1%)	26名(22.2%)

### ●ハンディキャップ分布

JGAHdcp	+1	0	1	2	3	4	5	6	7	8
20枚以上(男子)	1	6	4	4	18	11	6	6	2	1
(女子)									1	
5枚～19枚(男子)	2	2	5	5	16	14	15	10	8	4
(女子)									1	2

9	10	11	12	13	14	15	16	17以上
3	2	2	2	5	2	3	1	1
2	4	2						
2	5	4	5	4	13	7	10	16

内訳は、

平均で、男子「3.45」、女子「13.67」となり、月例参加資格の男子「3」、女子「12」に近い数字となりました。しかし、あくまでも参加資格のJGAHdcpは、「3」と「12」までの選手であります。

ここで、スコアカード20枚以上の選手で、興味深いデーターを2、3例を挙げ、分析したいと思います。

例1) 神奈川県 Y・I選手(男性) 詳細は※2(8頁)参照  
この選手のスコアカードは、

- ペストスコア 68
- ワーストスコア 82
- ペストディファレンシャル -2.3
- ワーストディファレンシャル +7.9

JGAHdcpは、「+1」と査定されました。  
俱楽部よりの申請は、「0」となっております。  
月例競技のスコアカード、つまり公式戦でのスコアの平均が、通常のラウンド平均よりも良いと



いうのは、あまり考えられないことなので、俱楽部担当者に確認したところ、「当俱楽部では、アマチュアにプラスハンディキャップはないという考え方で、ハンディキャップを査定しています。査定方法は、もちろんJGAHdcp方式です。」という回答でした。この俱楽部のハンディ査定方法は厳密にいえば、JGAHdcp方式ではないといえます。

例2) 千葉県 K・S選手(女性) 詳細は※3(8頁)参照  
この選手のスコアカードは、

ベストスコア 85

ワーストスコア 96

ベストディファレンシャル +15.2

ワーストディファレンシャル +25.7

JGAHdcpは、「17」と査定されました。

俱楽部よりの申請は、「10」となっておりました。この結果から見ると、どうみてもJGAHdcp10はおかしいことになります。俱楽部に確認したところ、月例競技の申込書には「10」、俱楽部内でのJGAHdcpは「16」とありました。参加資格を得るために細工をしたとしか考えられません。

例3) 神奈川県 N・O選手(男性) 詳細は※4(8頁)参照  
この選手のスコアカードは、

ベストスコア 78

ワーストスコア 88

ベストディファレンシャル +6.2

ワーストディファレンシャル +15.3

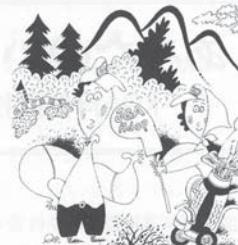
JGAHdcpは、「8」と査定されました。

この選手の俱楽部よりの申請は、「3」となっておりました。

勝手知ったるホームコースでは、いいスコアが出るのは当然であり、その提出カードだけで査定すれば、JGAHdcp「3」という結果になったのでしょうか。しかし、月例競技のスコアカード履歴を見る限りにおいては、これまたにわかに信じがたい査定数値です。

確かに、ホーム俱楽部でラウンドしたスコアカードしか査定の対象にせず、パー72に対してのアンダーを極端に嫌う俱楽部ハンディキャップ委員

会があることは事実です。会員の1、2回出した好調時のスコアをもとに、Hdcpを査定し、アンダーで優勝しないように作為する俱楽部があることもよく耳にします。



それでいいのか大いに疑問のあるところです。

月例に参加される選手のJGAHdcpは、平均で男子「3.5」、女子「13.7」というデーターのとうり、ほとんどの選手は正確に俱楽部でJGAHdcpの査定を受けていることと思われますが、一度全てのスコアカードをきちんと保管し、JGAHdcp規定に則り、査定してみてはどうでしょうか。ゴルフ規則書(ルールブック)には、JGAHdcp規定について詳しく解説した、ハンディキャップ読本がついております。ご自分のJGAHdcpをもう一度見直してみることをおすすめします。

もし、疑問が生じたならば、ご自分の俱楽部のハンディキャップ委員会に質問してみて下さい。自分の俱楽部は、本当にJGAHdcpを採用しているのか、また、周りの会員の方のJGAHdcpを検証してみて下さい。月例参加選手は、第1項の目的に、「模範的なアマチュアゴルファーの育成、また、参加する者は、単に成績を競うだけではなく、競技を通じて、エチケット、マナー、ルールを研鑽し、良き指導者としてのプレーヤーを目指さなければならない」とあります。これはHdcpについて同じことがいえると思います。

また、俱楽部ハンディキャップ委員会、俱楽部内担当事務局の方は、是非、JGAHdcp規定の精神をご理解いただき、なぜ俱楽部独自のHdcp査定方法ではなく、JGAHdcp方式でなければならないのか、なぜ、JGAHdcpのネットワーク化が必要なのか、理解戴きたいものです。

ご参考までに主な選手のデーターを掲載いたします。

### ●男子

選手名	俱楽部申告Hdcp	月例JGAHdcp
徳永 雅洋	+1	0
澤田 信弘	0	0
根本 太満	+1	1
白井 敏夫	+2	2
小久保武夫	0	3
中野 弘治	0	3
新村ヨシオ	+1	3
T・K選手	1	6
A・I選手	2	7
F・K選手	3	11

### ●女子

選手名	俱楽部申告Hdcp	月例JGAHdcp
渡辺 恵子	3	5
加藤 勝栄	4	9
三木恵美子	7	9
加藤 理刈	8	10
湯原 光葉	7	10
M・F選手	7	16
Y・O選手	11	17
I・T選手	12	18
F・H選手	11	19
M・S選手	12	23

### ●平成8年度 月例競技成績表

月／会場	コース・レーティング		男 子		女 子	
	男子	女子	ベストスコア	ワーストスコア	ベストスコア	ワーストスコア
4月 嵐山	72.5	70.5	72	94	77	96
6月 霞ヶ関	73.2	71.1	72	89	74	94
7月 中山	72.6	69.8	69	90	74	96
8月 ワインレイクス	73.2	69.8	71	95	75	95
9月 舞ヶ崎	71.8	70.3	74	91	80	99
10月 カレドニアン	73.0	70.0	69	97	77	110
11月 箱根	72.8	69.6	68	94	75	96
12月 淢城	73.3	70.9	71	89	82	101
1月 程ヶ谷	71.8	69.6	72	91	75	104
2月 東京	72.2	71.1	70	90	78	99
3月 千葉・野田	70.3	68.8	70	92	79	107
平均	72.4	70.1	70.73	92.00	76.91	99.73

### ●月例競技参加者JGAHdcp査定状況

JGAHDCP	男 子	女 子
+1	3	
0	8	
1	9	
2	34	
3	25	
4	21	
5	16	2
6	10	
7	5	
8	2	2
9	4	5
10	2	7

JGAHDCP	男 子	女 子
11		6
12		7
13		9
14		15
15		10
16		11
17		12
18		3
19		1
23		1
平均	3.45	13.67

※平成9年2月月例終了時

※1 KGAが昭和53年に開発した、JGAHdcp計算のためのシステム。KGA加盟俱楽部会員を登録し、そのJGAHdcp計算ならびにデータを集中管理するシステム。全国の約1600俱楽部の最新のコース・レーティング、ホールバイホール等のデータを大型汎用機を利用し管理している。

また、平成7年度に専用パソコンを使用し、俱楽部とKGA計算センターをオンラインで結ぶ「G-sys」(ジーシス)も開発された。

## ※2 神奈川 Y・I 選手

96/12 03821 茨城GC 73 -0.3 H=+1*	96/11 03733 箱根CC 68 -4.8 H=+1*	96/08 03537 ツインL 80 4.8 *	96/07 03393 中山CC 70 -1.7 *	96/05 03339 霞ヶ関C 79 3.9 *	96/04 03213 嵐山CC 78 5.5 *	96/03 03111 飯能 76 3.4 *	96/02 03009 東京GC 74 -0.2 *	96/01 02922 程ヶ谷C 74 1.2 *	95/11 02731 日高CC 75 2.4 *
95/07 02463 霞ヶ関C 70 HD=+1 ( )	95/05 02283 船橋CC 74 -1.2 H=+1*	95/04 02167 筑波CC 75 1.8 H=1.8	95/02 02027 東京GC 79 3.0 H=16*	95/01 01901 程ヶ谷C 70 5.8 H=16	94/12 01805 茨城GC 71 -1.8 H=16*	94/11 01709 日高CC 71 -2.3 H=16*	94/09 01596 霞ヶ関C 82 -1.6 H=01*	94/08 01468 緑野CC 75 -0.2 H=01	94/06 01349 筑波CC 76 1.2 H=01
96/12 02134 茨城GC 93 21.0 H=17	96/11 02082 箱根CC 91 20.4 H=17	96/10 02027 カレドニ 90 20.0 H=17*	96/07 01923 中山CC 96 25.7 H=17	96/03 01761 飯能 96 22.2 H=16	96/01 01628 程ヶ谷C 89 18.4 H=16*	95/11 01522 日高CC 89 16.8 H=16*	95/10 01463 富里GC 91 20.4 H=16*	95/09 01421 江戸崎C 87 17.5 H=16*	95/08 01374 袖ヶ浦C 86 16.0 H=16*
95/05 01276 船橋CC 88 HD=17 ( )	95/04 01211 筑波CC 85 17.6 H=16*	95/02 01174 東京GC 94 15.2 H=16*	95/01 01126 程ヶ谷C 95 22.9 H=17	94/11 01043 日高CC 96 24.4 H=17	94/10 01337 龍ヶ崎C 91 25.3 H=17	94/06 01221 筑波CC 88 16.4 H=17*	94/01 01110 程ヶ谷C 91 18.2 H=17*	93/11 01059 江戸崎C 89 21.4 H=17	93/09 00135 霞ヶ関C 91 19.5 H=17
96/11 03813 箱根CC 87 13.2 H=08	96/04 03283 嵐山CC 84 10.5 H=08*	96/02 03086 東京GC 83 10.8 H=08	96/01 02961 程ヶ谷C 78 6.2 H=08*	95/11 02811 日高CC 88 16.7 H=08*	95/09 02628 江戸崎C 82 10.3 H=08*	95/08 02533 袖ヶ浦C 83 11.7 H=08*	95/07 02413 霞ヶ関C 81 10.8 H=08*	95/04 02236 筑波CC 83 10.8 H=08*	95/01 01982 程ヶ谷C 83 10.0 H=07*
94/12 01868 茨城GC 81 HD=08 ( )	94/11 01742 日高CC 80 7.7 H=07*	94/09 01610 霞ヶ関C 84 7.4 H=08	94/06 01386 筑波CC 79 10.9 H=08	94/03 01201 スプリン 87 13.7 H=07*	94/01 01082 程ヶ谷C 87 7.2 H=07*	93/11 01020 江戸崎C 83 11.3 H=08	93/09 00084 霞ヶ関C 87 13.9 H=08	93/07 00062 カレドニ 82 9.0 H=07*	93/04 00096 中山CC 87 15.3 H=07*

## ※3 千葉 K・S 選手

96/12 02134 茨城GC 93 21.0 H=17	96/11 02082 箱根CC 91 20.4 H=17	96/10 02027 カレドニ 90 20.0 H=17*	96/07 01923 中山CC 96 25.7 H=17	96/03 01761 飯能 96 22.2 H=17	96/01 01628 程ヶ谷C 89 18.4 H=17	95/11 01522 日高CC 89 16.8 H=17	95/10 01463 富里GC 91 20.4 H=17	95/09 01421 江戸崎C 87 17.5 H=17	95/08 01374 袖ヶ浦C 86 16.0 H=17*
95/05 01276 船橋CC 88 HD=17 ( )	95/04 01211 筑波CC 85 17.6 H=16*	95/02 01174 東京GC 94 15.2 H=16*	95/01 01126 程ヶ谷C 95 22.9 H=17	94/11 01043 日高CC 96 24.4 H=17	94/10 01337 龍ヶ崎C 91 25.3 H=17	94/06 01221 筑波CC 88 16.4 H=17*	94/01 01110 程ヶ谷C 91 18.2 H=17*	93/11 01059 江戸崎C 89 21.4 H=17	93/09 00135 霞ヶ関C 91 19.5 H=17
96/11 03813 箱根CC 87 13.2 H=08	96/04 03283 嵐山CC 84 10.5 H=08*	96/02 03086 東京GC 83 10.8 H=08	96/01 02961 程ヶ谷C 78 6.2 H=08*	95/11 02811 日高CC 88 16.7 H=08*	95/09 02628 江戸崎C 82 10.3 H=08*	95/08 02533 袖ヶ浦C 83 11.7 H=08*	95/07 02413 霞ヶ関C 81 10.8 H=08*	95/04 02236 筑波CC 83 10.8 H=08*	95/01 01982 程ヶ谷C 83 10.2 H=07*
94/12 01868 茨城GC 81 HD=08 ( )	94/11 01742 日高CC 80 7.7 H=07*	94/09 01610 霞ヶ関C 84 7.4 H=08	94/06 01386 筑波CC 79 10.9 H=08	94/03 01201 スプリン 87 13.7 H=07*	94/01 01082 程ヶ谷C 87 7.2 H=07*	93/11 01020 江戸崎C 83 11.3 H=08	93/09 00084 霞ヶ関C 87 13.9 H=08	93/07 00062 カレドニ 82 9.0 H=07*	93/04 00096 中山CC 87 15.3 H=07*

## ※4 神奈川 N・O 選手

96/11 03813 箱根CC 87 13.2 H=08	96/04 03283 嵐山CC 84 10.5 H=08*	96/02 03086 東京GC 83 10.8 H=08	96/01 02961 程ヶ谷C 78 6.2 H=08*	95/11 02811 日高CC 88 16.7 H=08*	95/09 02628 江戸崎C 82 10.3 H=08*	95/08 02533 袖ヶ浦C 83 11.7 H=08*	95/07 02413 霞ヶ関C 81 10.8 H=08*	95/04 02236 筑波CC 83 10.8 H=08*	95/01 01982 程ヶ谷C 83 10.2 H=07*
94/12 01868 茨城GC 81 HD=08 ( )	94/11 01742 日高CC 80 7.7 H=07*	94/09 01610 霞ヶ関C 84 7.4 H=08	94/06 01386 筑波CC 79 10.9 H=08	94/03 01201 スプリン 87 13.7 H=07*	94/01 01082 程ヶ谷C 87 7.2 H=07*	93/11 01020 江戸崎C 83 11.3 H=08	93/09 00084 霞ヶ関C 87 13.9 H=08	93/07 00062 カレドニ 82 9.0 H=07*	93/04 00096 中山CC 87 15.3 H=07*
96/11 03813 箱根CC 87 13.2 H=08	96/04 03283 嵐山CC 84 10.5 H=07*	96/02 03086 東京GC 83 10.8 H=08	96/01 02961 程ヶ谷C 79 6.2 H=08	95/11 02811 日高CC 87 13.7 H=07*	95/09 02628 江戸崎C 83 7.2 H=08	95/08 02533 袖ヶ浦C 87 11.3 H=08	95/07 02413 霞ヶ関C 82 9.0 H=08	95/04 02236 筑波CC 87 13.9 H=08	95/01 01982 程ヶ谷C 87 15.3 H=07*
94/12 01868 茨城GC 81 HD=08 ( )	94/11 01742 日高CC 80 7.7 H=07*	94/09 01610 霞ヶ関C 84 7.4 H=08	94/06 01386 筑波CC 79 10.9 H=08	94/03 01201 スプリン 87 13.7 H=07*	94/01 01082 程ヶ谷C 87 7.2 H=07*	93/11 01020 江戸崎C 83 11.3 H=08	93/09 00084 霞ヶ関C 87 13.9 H=08	93/07 00062 カレドニ 82 9.0 H=07*	93/04 00096 中山CC 87 15.3 H=07*

## 表の見方

月例年月：96年11月例  
 クラブコード：会場の箱根CCのグリーンシステム上のコードナンバー  
 月例会場：箱根カントリー倶楽部  
 箱根CC  
 月例成績：当日のスコア  
 ディファレンシャル：競技当日のスコアをストロークコントロールし、そのスコアから競技当日使用したティーグリーンのコース・レーティングを引いた数字  
 HGA Hdcp  
 ★ JGA Hdcp：このスコアカードを1枚入れた時のHdcp  
 ベストカード10枚に採用されたスコアカード  
 このプレイヤーの最新のJGA Hdcp

# 梅檀は双葉より芳し

文・高橋正孝 (KGA広報委員長)

写真・片山晴美 (KGA広報委員)

(写真は茨城ゴルフ倶楽部で撮影)

今をときめく、丸山茂樹、福嶋晃子プロはKGAジュニア出身である。(他にも大勢いるが枚挙にいとまないので省略する)

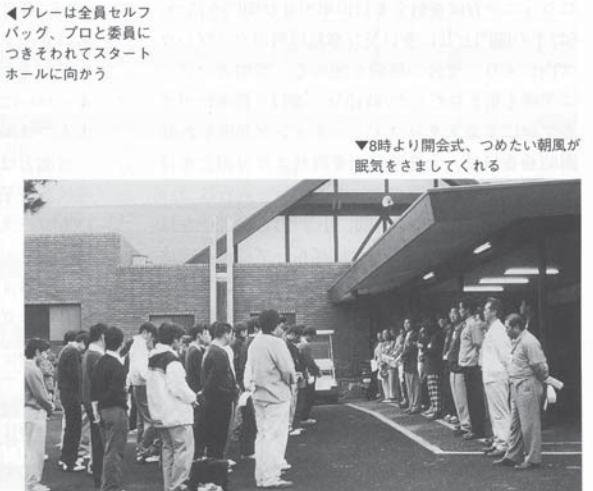
永いことジュニア委員を務めているO氏に言わせると、二人とも“梅檀”であったという。

鳥山城でのジュニアスクールの時、福島プロはまだ中学生だったが、その飛距離は群を抜いていた。池越えの150ヤードのショートホールを8番アイアンで軽くオンした。それを見て、同伴していたトップアマの某氏(今も、関東アマに出席している)が、ならばと思って同じ番手を握ったが、見事に“池ボチャ”、あきれかえると同時に、著しくプライドを傷つけられた。

丸山プロが、関東ジュニアに初出場したのがやはり中学生の時だが、会場の武蔵カントリークラブ・猿井コースは、6,500ヤードをこえる距離にセッティングされた。ラウンドをおえた丸山君が、当時の松野京三ジュニア委員長に“おじさん、このコースは長すぎるよ。”と、天真爛漫に堂々とクレームをつけた。松野さんは“この坊主は大物になる”と思ったという。

と、まあ一昔前は大物ぶりを発揮するジュニアが大勢いたという。

さて、今年のジュニア諸君はどうか。そのあたりを知りたくて、8会場のなかで最も参加者の多い(しかも、交通の便にめぐまれているため、小、中



▶どの子もかなり練習をつんでいることが、ありありとわかる。フォームもきまっている



◀プロのワンポイントの注意もすぐにマスターして、格段のショットを連発する

学生の参加者が多い)、若洲ゴルフリンクスに足を運んでみた。

やや、はだ寒い朝の6時過ぎ、すでに正門入口前にジュニア育成委員会委員の車が並び開門を待つ。6時半の開門と共に委員及び事務局員がクラブハウス内に入り、受付の準備を始める。参加者のジュニア達も集まりだした7時15分、委員と指導に当たるプロによるスタッフ・ミーティングが開かれ紅露昭通委員長、大鷲俊朗副委員長より分担と本日の目標について説明があった。プレー進行については高校生は9ホール2時間、小学生は2時間半を目標とし、プレー終了後またはグループによってはプレー前に、ビデオによるプロの指導及びアプローチ、パターのレッスンを実施、午後4時半に終了したいとのことであった。

8時に参加者受付を終了、今回は全員で132名であった。その内訳は小学生が28名、中学生が55名、高校生49名であった。8時過ぎクラブハウス前で開会式が行われ、紅露委員長から先にふれた本日の目標に加え、本年のジュニアスクールの重点目標

は「挨拶の励行」と「ルールを習得」することに置いているとの話があった。ルールの習得は大人だって一朝一夕に身につけることはできない。しかし、若者らしく元気よく、「おはよう」と大声でいいさつをすることは、平凡なことだが大事なことだ。それを今年度の重点目標にすることに、オーバーに言えば、昨今のジュニア(だけでなく、大人のゴルファー)の問題が象徴されてるとみた。

参加者は8グループに分かれ、2日前に女子プロ競技が終了し、まだギャラリースタンドの残っているコースの中に次々にスタートして行った。

ゴルフ・コースを管理されている西谷眞支配人の話では「公営スポーツ施設としてジュニア育成にお役に立てれば幸いです。また、これからも都民、区民、のための催しにも一層協力したい。今日のグリーン・コンディションはトーナメントが終わったばかりなので堅く、早いので手こずるかもしれませんよ。」とのことであった。本来コースに整備に充てるべき日をジュニアのために割いていただいたとのこと、ありがたいことである。

さてスタートホールでジュニア達を、つぶさに観察したが実に和気あいあいとしており、この年齢層にしばしば見られるような、極端な服装やヘアスタイルの子はいなかった。今日のジュニアに限って言えば、日頃からきちんと髪がゆきとどいていると思われた。

9番ホールで早めにスタートしたパーティーを迎えたが、やはりグリーンには多少苦労しているようだ。しかし目標の9ホール2時間を切るペースでホールアウトしていた。

彼等は食事をはさんでバックナインに向かっていったが、この中から果たしてどのようなトッププレイヤーが将来出て来るだろうか。私の目にはどの子も桜檀に見えた。

一人でも多く将来の「良いゴルフ・プレーヤー」となってほしいものだ。

ゴルフも国体種目なったことを機に、ジュニア・



▲高校生となると、我流のフォームが目立つ 矯正するのに時間がかかる

ゴルフもいっそうの盛り上がりが期待できる。それを支えるべく、KGA加盟倶楽部全体で地域でのグラス・ルート(草の根)を強く張らせる必要性を感じた。

#### 平成8年度 平成9年度 春季ジュニア・ゴルフスクール実績表

	開催日	倶楽部	定員	申込人數	欠席(内無断)	参加者	委員	男子プロ	女子プロ
1	H8 3月25日(月)	我孫子	18H	150	139	16	123	10	12
	H9 3月24日(月)		°	150	125	35	90	16	12
		対前年度比		-14		-33			
2	H8 3月25日(月)	桜ヶ丘	18H	150	95	10	85	13	10
	H9 3月24日(月)		°	150	123	21	102	12	12
		対前年度比		+28		+17			
3	H8 3月29日(金)	ノーザン緑ヶ原	9H	150	79	9	70	9	12
	H9 3月28日(金)		°	150	114	15(1)	99	13	12
		対前年度比		+35		+29			
4	H8 4月1日(月)	茨城	18H	150	97	10	87	10	10
	H9 3月31日(月)		°	150	123	19	104	11	12
		対前年度比		+26		+17			
5	H8 4月2日(火)	東京国際	18H	150	99	6	93	11	11
	H9 4月1日(火)		°	150	116	25	91	13	16
		対前年度比		+17		-2			
6	H8 4月2日(火)	若洲	18H	150	137	11	126	15	15
	H9 4月1日(火)		°	150	145	13	132	14	12
		対前年度比		+8		+6			
7	H8 4月3日(水)	セントラル(高コ速)	18H	150	106	10	96	1	12
	H9 4月2日(水)		°	150	89	0	89	1	12
		対前年度比		-17		-7			
8	H8 4月1日(月)	佐倉(親子スクール)	18H	110	子55 親55	子2 親2	子53 親53	5	12
	H9 3月31日(月)		°	150	子72 親72	子14 親15	子58 親57	6	15
		対前年度比		+17 +17		+5 +4			
		合 計		H8 1,160	862	76	786	74	94
		H9 1,200		979	157	822	86	103	18
		対前年度比		+117		+36			

# 体委員会レポート

## 「国体」は どのように 開催されるか

文・内田盛雄 (KGA常務理事・体協委員会委員長)

関東ゴルフ連盟に体協部会体協委員会が設置されたのは平成7年のことである。

その構成は関東地区11都県の競技者によって設立された競技団体が、それぞれの都県体育協会に加盟を許された上、当連盟を通じ、日本ゴルフ協会に加盟した次の11団体である。

新潟県ゴルフ連盟 長野県ゴルフ協会 山梨県ゴルフ連盟 群馬県ゴルフ連盟 栃木県ゴルフ連盟 茨城県アマチュアゴルフ連盟 埼玉県ゴルフ協会 千葉県アマチュアゴルフ協会 東京都ゴルフ協会(設立準備中) 神奈川県ゴルフ協会 静岡県ゴルフ連盟。

上記各加盟団体より選出された委員により組織されているのが体協委員会である。

さて、委員会の最大課題はゴルフ競技の国民体育大会への参加である。当連盟の加入団体である財日本ゴルフ協会は平成4年3月24日に財日本体育協会に復帰加盟して以来、国民のスポーツの祭典である国民体育大会に正式競技として参加することを目標としてきた。その第一歩として平成10年の第53回国体夏季大会(神奈川)で公開競技として行われることが平成7年7月11日に財日本体育協会において決定された。実施要項(案)は次の通りである。

### 1. 期日

平成10年9月12日(土)から9月14日(月)まで3日間

種別	9月12日(土)	9月13日(日)	9月14日(月)
成年男子	公開練習	開始式・競技	競技・表彰式
成年女子	公開練習	開始式・競技	競技・表彰式

### 2. 会場

大磯町 レイクウッドゴルフクラブ

### 3. 種別及び参加人員

種別	監督	選手	参加都道府県	選手計	監督計	合計
成年男子	1	3	47	141	47	329
成年女子		3		141		
計	1	6	47	282	47	

### 4. 競技上の規程及び方法

- (1) 競技規程は(財)日本ゴルフ協会競技規則および大会特別規則による。
- (2) 各選手は、36ホールストロークプレーを行う。
- (3) 順位の決定
  - 各種別とも、1位40点、2位35点、3位30点、4位25点、5位20点、6位15点、7位10点、8位5点の競技得点を与える。
  - ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

そして平成8年6月11日に財日本体育協会において念願の正式競技として実施することが決定した。適用大会は第54回国体夏季大会(熊本)からとなり実施要項(案)は次の通りである。

### 1. 期日

平成11年9月11日(土)から9月13日(月)まで3日間

種別	第1日	第2日	第3日
成年男子	公式練習・開始式	競技	競技・表彰式
成年女子	公式練習・開始式	競技	競技・表彰式
少年男子	公式練習・開始式	競技	競技・表彰式
少年女子	公式練習・開始式	競技	競技・表彰式

### 2. 会場

熊本中央カントリークラブ (成年、少年女子)

グランドチャンピオンゴルフクラブ (成年男子)

熊本クラウンゴルフ俱楽部深田コース (少年男子)

### 3. 種別及び参加人員

種別	監督	選手	参加都道府県	選手計	監督計	合計
成年男子	1	4	47	188	47	331
成年女子		4		96		
少年男子	1	3	47	141	47	188
少年女子	1	3	24	72	24	96
計	3	14	—	497	118	615

(1) 成年男女のうち、学生は1名以内とする。

### 4. 参加資格

国民体育大会実施要項総則5に定めるもののが次による。

- (1) 選手は(財)日本ゴルフ協会の登録者であること。
- (2) 学生は4回(歯科学部は6回)、短大生は2回までの参加とする。

### 5. 競技上の規程及び方法

- (1) 競技規程は、(財)日本ゴルフ協会ゴルフ規則による。

- (2) 各選手は、36ホール・ストロークプレーを行う。

### 6. 予選方法

#### (1) 都道府県大会

各都道府県競技団体は都道府県大会を実施し、ブロック大会及び本体会に出場する代表を決定する。また、試合記録を(財)日本ゴルフ協会宛報告すること。

#### (2) ブロック大会

(ア) 各ブロック大会の主管競技団体はブロック大会を実施し、本大会に出場する代表を決定し、直ちに参加選手名簿を(財)日本ゴルフ協会に報告しなければならない。

(イ) ブロック大会区分及び代表チーム数は下記のとおりとする。

ブロック名	都道府県名	成年女子	少年女子
北海道	北海道	1	1
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	2
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	5	5
北 信 越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	2
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	2	2
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	4	4
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	2	2
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	2	2
九 州	福岡、佐賀、長崎、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	3	3
開催地	熊本	1	1
	計	24	24

### 7. 総合成績決定方法

男女総合成績(天皇杯得点)及び女子総合成績(皇后杯得点)は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第1位から第8位までを決定する。

#### (1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競技得点
成年男子		各種別とも1位40点、2位35点、3位30点、4位25点、5位20点、6位15点、7位10点、8位5点の競技得点を与える。
成年女子	成年女子	35点、3位30点、4位25点、5位20点、6位15点、7位10点、8位5点の競技得点を与える。
少年男子	少年女子	
少年女子		

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかつた場合は与えない。

**福島、広島県で国体記念大会を開催**

また正式競技に至るまでにはゴルフ界全体の努力もあった。その中で平成7年9月に行われた「ふくしま国体記念全国アマチュアゴルフ選手権」を、また平成8年10月には「ひろしま国体記念全国アマチュアゴルフ選手権」を開催した。これはゴルフが多くの国民に親しまれ、また多くのアマチュア競技者が47都道府県にいること。また県ゴルフ協会（連盟）が競技運営体制も十分に整っていることをアピールする主旨で、日本体育協会後援のもとに行なった。成績は以下の通りである。

**「ふくしま国体記念全国アマチュアゴルフ選手権」**

**主 催**  
(財)日本ゴルフ協会、福島県ゴルフ連盟、福島県体育協会

**成績表**

順位	都道府県	総合得点	団体得点	個人得点	選手 参加得点
1	北海道	115	95	8	12
2	東京都	86	65	9	12
3	大阪府	72	40	21	11
4	岩手県	63	45	8	10
5	茨城県	60	40	8	12
6	高知県	53	35	6	12
7	福井県	52	40	8	4
8	山形県	47	20	15	12
9	愛媛県	46	30	4	12
10	福島県	45	15	6	24

※競技参加者 35都道府県 323人

**「ひろしま国体記念全国アマチュアゴルフ選手権」**

**主 催**  
(財)日本ゴルフ協会、中国ゴルフ連盟、広島県ゴルフクラブ連盟、(財)広島県体育協会

**成績表**

順位	都道府県	団体得点	個人得点	総合得点
1	広島	80	12	92
2	埼玉	35	8	43
3	石川	35	8	43
4	北海道	30	4	34
5	鹿児島	20	13	33
6	大阪	30		30
7	兵庫	25	2	27
8	東京	25		25
9	群馬	20		20
10	熊本	15	4	19

※競技参加者 47都道府県 277人

さて、国民体育大会の開催の目的は「広く国民の間にスポーツを普及し、アマチュアリズムとスポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。」ということである。また主な点は以下の通りである。

1. 主催は財団法人日本体育協会、文部省、開催地都道府県とし、各競技会については前3者に加え中央競技団体及び会場地市町村を含めたものである。
2. 毎年開催され都道府県の持ち回りである。
3. 大会参加選手団は都道府県を代表する者である。
4. 都道府県の全正式競技の得点争いであり男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯、女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯を授与する。
5. 都道府県体育協会は、都道府県大会を都道府県競技団体の主管のもとに開催し、都道府県の代表選手を決定する。
6. 国体の準備及び開催費用については、都道府県並びに、会場地市町村の負担金、それに国庫補助金、日体協補助金にて賄われている。

上記が当連盟に体協委員会が設置され取り組んでいる国民体育大会ゴルフ競技に関する報告であります。当連盟60余年にわたる歴史の中で最近誕生した当委員会の今後の活動にご理解とご協力ををお願いする次第である。



**新規加盟倶楽部紹介**

トされています。上級者にはそれなりの厳しさを求める、アベレージゴルファーにはゆっくり楽しんでもらえるだけの巾をコース内に盛り込んでおります。

練習場の環境は整っており、ドライビングレンジでは、芝の上からラウンドボールを直接打っていただけます。300ヤードの打放しです。又6ホールのエストラホールも完備し、この6ホールは9ホール分のショートコースとして使用できるように設計されます。練習ラウンドにアプローチ、バンカーの練習に自由に利用できます。

レイモンド設計事務所の手によるクラブハウスは、平屋建ての光りあふれる南欧風の建物で、中央にパテオ（中庭）を配し、心地よさと落ち着いた雰囲気を出しております。柱廊様式の渡り廊下で、ロッカー室とレストラン・コンペルーム・フロントと区別され機能的に使い易くなっています。浴室は天井が開閉式ドーム型で解放感にあふれています。

食文化を供する森永として、ご歓談のテーブルに彩りを添える料理や飲物は最高のものを用意しております。

当俱楽部では、ご来場の皆様にゆったりとくつろいで楽しくゴルフを満喫できるような運営を心掛けております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

**森永高滝カントリー倶楽部**



1. 倶楽部名 森永高滝カントリー倶楽部
2. 住 所 〒290-05 千葉県市原市古敷谷1919
3. 電 話 ☎0436-96-1266
4. 開場年月日 平成4年10月17日
5. 理 事 長 松崎 昭雄 (S8.1.2)
6. 倶楽部代表者 同上
7. 倶楽部分科委員長 選任中
8. 支 配 人 加藤 晴彦 (S16.12.8)
9. 倶楽部概要

コースの所在地は房総半島の中央部、市原市の南部に位置します。アクセスは東関東自動車道、館山線の市原ICであり、新生十字路を左折し国道297号線を勝浦方面に向かいます。牛久の米沢交差点で右折して養老渓谷方面に進み高滝神社付近で左折し、案内看板に従って下さい。東京からの所要時間は1時間30分です。

電車利用の場合は、京葉線東京駅から特急さざなみ号に乗り、45分で内房線五井駅に着きます。五井駅東口よりクラブバス（予約制 7:20、8:20発）を2便運行しています。コース迄の時間は40分です。

高滝ダムの南側に拡がる緑豊かな、ゆるやかな丘陵地に18ホールを展開しています。敷地は145haと広く、標高150mを拠点としてなだらかに広がり、杉や松など自然の樹木にも恵まれています。年間平均気温が13.8℃～16.2℃の範囲内で温暖な気候であり、1年を通じてプレーが楽しめます。

川田太三氏の設計監修によるコースは、自然の地形を最大限に生かした美しさと戦略性に富んでおります。

全長7,094ヤードの充分な距離と、広々としたブーベーが自然の中に溶け込むようにレイアウト

**梅ノ郷ゴルフ倶楽部**



1. 倶楽部名 梅ノ郷ゴルフ倶楽部
2. 住 所 〒379-01 群馬県安中市中秋間1984
3. 電 話 ☎0273-81-0001
4. 開場年月日 平成4年10月8日
5. 理 事 長 神谷 洋 (T10.9.15)

## 新規加盟倶楽部紹介

倶楽部代表者 川島 賢

4. 倶楽部分科委員長 正田 健三

5. 支配人 森山 武久 (S15.4.28)

## 6. 倶楽部概要

平成4年10月、群馬県安中の景観に恵まれた大地に誕生した梅ノ郷ゴルフ倶楽部は、自然を活かしたリンクス系のコース設計で、コース攻略に飽きがこない戦略性に富んだコースです。

アクセスは、車の場合、都心から関越自動車道にのり、高崎ICでおりて約25分でコースに到着します。または、藤岡JCTより上信越自動車道に入り、松井田妙義ICでおりて約15分でコースです。

電車利用の場合は、東京駅から上越新幹線で52分の高崎駅で乗り換えて、信越線で12分の安中駅を下車し、車で約10分で到着します。また、平成9年度開通予定の北陸新幹線によれば東京より約60分です。新安中駅（仮称）で下車して、車で約5分と交通の便がよくなります。

当倶楽部は、日本初のサンドフェアウェーを探用しております。その効果を幾つか上げますと、まず第一に、プレーヤーの皆様の、足の疲労感を最小限に抑えるということです。そしてショットはクラブヘッドの抜けが大変良く、楽しいゴルフシーンを提供します。さらに排水を良くし、雨後のプレーも速やかに再開させることが可能な上、芝の成長を促進させます。

コース設計には、数多くのゴルフコースを手がけた名アーキテクト加藤俊輔氏により、独特のマウンド、ウォーターハザード、グラスバンカーなどが美しくレイアウトされています。

機略性に富んだアウト、その代表でもあるのが5番のS字ロングホールや9番180ヤードのショートホールです。特に9番は池越えのプレッシャーがかかる当倶楽部の名物ホールもあります。

インは、広く長いおおらかな空間という印象を与え、その代表格として16番621ヤードの超ロングホールなどがあります。

アフターブレイのくつろぎの場として、また社交場となるクラブハウスは、妙義山、浅間山を背景に、胴金の半円の屋根と、吟味を重ねて焼き上

げた灰赤褐色タイルの外壁の微妙な調和で、コースの美しい点景となり、なんともいえない安心感を与えてくれます。美術館の内部を思わせるシンプルでしかも重厚なインテリアが、落ち着いた雰囲気をかもしだしております。

当倶楽部では全面乗用カートを導入し、ご年配者や女性の方にも楽しくプレーができ、またレストランの価格を出来るだけ抑え、お客様の負担を少なくし幾度となくご来場いただけるように努力いたしております。今後共、御指導を宜しくお願ひ申し上げます。



1. 倶楽部名 レイク相模カントリークラブ

住 所 〒409-01 山梨県北都留郡上野原町棚原5000

電 話 ☎0554-67-2221

2. 開場年月日 平成元年10月28日

3. 理事長 異 外夫 (T12.10.7)

俱楽部代表者 山田 正志

4. 倶楽部分科委員長 選任中

5. 支配人 満倉 正昭 (S9.11.28)

## 6. 倶楽部概要

新宿から車で中央高速上野原ICまで約40分。上野原ICからは12分ほどのところに位置しており都心からのアクセスは良い。

コースのある上野原町棚原地区は豊潤な自然に恵まれた「長寿の里」である。コースは、丘陵を切り開きフラットに仕上げられている。一方、微妙なアンジュレーション、適所に池やバンカー、マウンドを配して戦略性を高めている。特に9番ホールは、池の中に浮かぶ島と島になっており、倶楽部名にふさわしい名物ホールである。

## 新規加盟倶楽部紹介

ィナルゴルフクラブは、訪れる誰もが自然の雄大さと美しさに感動をおぼえると同時に、あらゆるレベルのゴルファーがゆったりと楽しむことができるゴルフクラブです。

自然の起伏を活かし、微妙なアンジュレーションをもつフェアウェーや、ピンポジションによって攻め方が異なる変化にとんだグリーン。個性あふれる18ホールが、プレーヤーにコース戦略の尽きせぬ歡びを約束してくれるでしょう。

——印象的な集成材の大屋根が、ナチュラルで解放感あふれる空間を演出するクラブハウス。——

高台に位置し周辺環境に溶け込むクラブハウスは、集成材を利用したドーム型の大屋根が印象に残るデザインです。明るく開放的な内部は、ぬくもりを感じさせるナチュラルな素材を多用し、シンプルなインテリアとともにやすらぎの空間を演出しています。大きな吹き抜けが伸びやかな印象をもたらすロビー、やわらかな木肌がやすらぎ感を演出するロッカールーム、そしてスタッフのきめ細やかなサービス。スタート前の一時や、プレー後の歓談の時間をゆったりとおくつろぎいただけます。



1. 倶楽部名 ミサワカーディナルゴルフクラブ

住 所 〒959-26 新潟県北蒲原郡中条町小牧台900

電 話 ☎0254-43-7200

2. 開場年月日 平成7年9月1日

3. 理事長 熊倉 信夫 (T14.6.11)

俱楽部代表者 熊倉 信夫

平田 秀明

4. 倶楽部分科委員長 選任中

5. 支配人 星 公一 (S23.12.6)

## 6. 倶楽部概要

——雄大な日本海と山々を背景に、造形美と戦略性が調和する18ホール。——

コースの随所から眺望できる洋々と広がる日本海。四季折々に多彩な表情を見せる櫛形山脈。新潟県中条町の緑豊かな高台に広がるミサワカーデ



1. 倶楽部名 阿賀高原ゴルフ倶楽部

住 所 〒959-46 新潟県東蒲原郡三川村大字上戸谷渡

電 話 ☎02549-9-2911

2. 開場年月日 平成7年9月10日

3. 理事長 福田 正 (T4.12.5)

俱楽部代表者 同上

4. 倶楽部分科委員長

コース委員長 福田 始

競技委員長 鈴木 嘉道

## 新規加盟倶楽部紹介

ハンディキャップ委員長 斎藤 吉平  
フェーローシップ委員長 正木 弘

## 5. 支配人 近藤 義雄 (S16.5.5)

## 6. 倶楽部概要

新潟県東部に位置し、五頭連峰を望み、清流阿賀野川に面した緑豊かな丘陵地に広がっております。27ホール (PAR108, 10,319Yard) は自然が作り出す微妙なアンジュレーション、林間の美しい景観、滝水の豊富な流れ、そこそこに顔を出す岩肌など、阿賀高原はまさにネイチャー・サンクチュアリです。「いたずらに華美を追うことなく、あるがままの姿を尊重する」。この倶楽部ポリシーを見事なまでに表現したのは、わが国ゴルフコース設計の第一人者である小室嘉彦氏。天与のゴルフリゾートとも呼ぶべき167万平方メートルの広大な地に、巧みな序・破・急のリズムを刻んでいます。第一打を放った瞬間から、それぞれの技量に応じた戦略性豊かなストーリーが展開します。そのプレーはプレーヤーひとりひとりの心に深く、豊かな印象を残すことでしょう。

また、自然環境保護のために開発された農薬分解処理システム（装置名、アイサンピュア）を導入しています。このシステムはクローズ方式により、ゴルフ場で用いられる農薬の拡散防止とその分解促進を図る画期的なもの。仕組みは、グリーン及びティーグラウンドの地下を遮水構造として地中への浸透流出を防止しつつ、散布された農薬成分を集水して紫外線、オゾンなどの装置により短時間のうちに成分の分解を行なうものです。上質のゆとりを大切にする阿賀高原ゴルフ倶楽部は環境保護にも万全を期します。

大宮ゴルフコース(準会員)



1. 倶楽部名 大宮ゴルフコース  
住 所 〒362 新潟県上尾市中分6丁目  
40番地

電 話 ☎048-773-2377

## 2. 開場年月日 昭和34年11月1日

3. 理事長名 甘糟 豊太郎 (T5.10.7)  
倶楽部代表者 甘糟 澄子

## 4. 倶楽部分科委員長

競技ルール委員長 大島 正弘  
ハンディキャップ委員長 泉 浩  
エチケット委員長 北西 兵造

## 5. 支配人 曾根 明 (S8.9.16)

## 6. 倶楽部概要

都心から35Kmと地理的にも恵まれた大宮ゴルフコースは、昭和34年オープン以来今年で38年目となり、首都圏のベットタウンとして発展してきた埼玉県上尾市の北西部に位置し、周辺の住宅開発が進む中、今なお武蔵野の面影を色濃く残す林間コースです。

交通は、車の場合、都心より首都高速道路5号線戸田南ICから新大宮バイパスを熊谷方面に直進し、上尾市久保交差点を左折、案内看板に従って進むとコースです。

電車利用の場合は、高崎線の上野駅から快速で36分。JR桶川駅にて下車し、クラブバスで5分と極めて交通アクセスに恵まれています。

コースは全体的にフラットで殆ど機械力を使用せずに、故浅見縁蔵氏設計による武蔵野の面影をそのまま取り入れた手作りで、種々の雑木にまじって老赤松の大木が多くフェアウェイが狭く見えるほどです。

四季折々の彩りが豊かで、中でも春の桜は、しばしばプレーを忘れてしまうほどです。かつては関東プロ等の選手権も開催しており、あの世界の青木功プロがプロテストに合格したコースもあります。

全体的にスコアのまとめが良さそうなコースですが、フェアウェイの大木と左右にはみ出したクロスバンカーが攻め方に変化をつけており、頭脳的な攻めが要求されます。一方ビギナーの方は、むりにグリーンを狙わずにプレーをすれば、

スコアをまとめることも充分可能で、初級者から上級者までランクに応じて楽しむことができます。

また、とくに当コースは、セミパブリック方式を探っており、メンバーの方には、ホームコースとしてのクラブライフを、ビジターの方には気軽に仲間内のプレーを楽しむことが出来ます。

クラブハウスは、昨年リニューアルし、プレー後をゆっくりとくつろぐための機能と設備は充分で、居心地の良い古き良き時代の面影をどことなく残しています。

当コースでは、ご来場のお客様に常に楽しく満足して頂けます様、引き続き努力致してまいります。今後とも皆様のご指導、ご叱責賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。

ヨネックス寺泊カントリークラブ(準会員)



1. 倶楽部名 ヨネックス寺泊カントリークラブ

住 所 〒940-25 新潟県三島郡寺泊町  
大字志戸橋254

電 話 ☎0258-75-2000

## 2. 開場年月日 平成8年7月29日

3. 理事長 米山 稔 (T13.10.15)

倶楽部代表者 同上

## 4. 倶楽部分科委員会

総務委員長 小泉 肇  
競技委員長 小林 敏夫  
コース委員長 安達 良一  
エチケット委員長 柳下 浩三

## 5. 支配人 遠藤 純一 (S30.8.8)

## 6. 倶楽部概要

平成8年にオープンしたヨネックス寺泊カントリークラブは、新潟県のほぼ中央部日本海に面し、間近に見える佐渡との定期就航路のある寺泊

## 新規加盟倶楽部紹介

町に位置します。県内屈指の観光地に立地し近隣に弥彦・岩室の温泉地を控え関越自動車道「中之島・見附インター」より約25分、JR長岡駅から車で約35分とアクセスも良好です。

経営母体はスポーツ用品メーカーのヨネックス(株)で、平成9年7月に開場1年目にして男子プロゴルフトーナメント「'97ヨネックスオープン広島」を開催いたします。

コース設計は、英米の名門コースに造詣の深い川田太三氏、監修は倉本昌弘プロが手がけ、川田氏の理念である「自然との調和」と「18人の個性溢れる美人を作り上げること」を基本にコースづくりを行いました。「プロゴルファーに難しく、そしてゴルフを心から愛するアマチュアプレーヤーには、ゴルフを全身で堪能できるコース」の言葉どおり、バンカー配置、フェアウェイの傾斜やマウンド、グリーン周辺のトラップとグリーンのアンジュレーションなど計算された実に巧みなコンピネーションとなって、ゴルフの醍醐味を充分に満喫頂けるものとなっています。アウトコースは距離が長く景観も開けたゆったりとしたコース、インコースは変化があり戦略性を必要とするコースで、それぞれの個性を時には積極的に、時には静かにアピールしています。

「メンバーの家」をコンセプトとして作られたクラブハウスはインド砂岩貼りの外觀を持つヨーロッパ調の建物で、1階にダイニング、2階にロッカーリームと浴室を配しています。ダイニングは円形で、コースが見渡せる落ち着いた広がりを持ち、メンバーの皆様がお招きになったゲストの方々とリラックスした会話を楽しめるくつろぎの空間を演出しています。

一度ラウンドしたらプレーヤーに深い印象が刻まれるコース。そしてラウンドすればするほど挑戦意欲をかきたてられるコース。くつろぎのひとときにもまた帰って来たいと思うクラブハウス。メンバーはもとよりゲストの皆様全てにご満足頂けるようなゴルフ場を目指して参ります。今後とも皆様のご指導を宜しくお願い申し上げます。

# 総会・常務理事会・理事会・分科委員会

## 第49回通常総会議事録

日 時 平成9年2月20日(木)

午前10時

場 所 ホテルニューオータニ 麗の間

連盟規約により、細川理事長定刻議長席につき、本日の総会は加盟474(含準会員4)俱楽部中、委任状合わせて344俱楽部の出席となり、総会は適法に成立の旨報告の後、開会を宣した。

### —決議事項—

#### 第1号議案

「平成8年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件」

細川議長より事業報告、ならびに活動方針、佐藤事務局長より決算報告、岩本監事より監査報告があり、原案どうり承認された。

#### 第2号議案

「平成9年度事業計画、ならびに一般会計・特別会計予算案の承認を求める件」

議長の指名により中井副理事長、予算編成の基本方針を説明、事務局長具体案を説明、原案どうり承認された。

#### 第3号議案

「(財)日本ゴルフ協会平成8年度事業報告、および決算報告、ならびに平成9年度事業計画、および予算に関する件」

議長の指名により、事務局長次記報告を行い承認された。

「9年度事業計画、および予算は、平成8年12月3日のJGA理事会において決定され、すでに加盟俱楽部に送付済である。8年度事業報告、ならびに決算については、平成9年2月26日開催されるJGA理事会において審議承認される予定である」

#### 第4号議案

「役員全員任期満了につき改選の件」

平成8年10月15日開催の常務理事会、理事会において連盟規約細則第1条に基づいて選任された、11名の各都県理事候補推薦委員より推举のあった、学識理事、監事候補の氏名を発表、次記50名の候補者は、各都県の総意によるものと判断し、細川議長、氏名を発表、全員異議なく承認された。

#### 新潟県より理事候補、

斎藤文志郎、横山嘉一、伊藤文吉、渡邊健三

#### 長野県より理事候補、

赤羽功、加藤邦太郎、山田六一

#### 山梨県より理事候補、

田中經策、野好次郎

#### 群馬県より理事候補、

福田彰、桑原正明、太田哲男、小山祐一

#### 栃木県より理事候補、

滝沢武、福嶋寿克、広中三男、神場多巳一、楠本陽一郎、吉澤兵左、篠崎勝宏

#### 茨城県より理事候補、

古賀始、海老原亜久寿、人見隆清、鬼沢忠治、鈴木光夫、石川周、塙原裕

#### 埼玉県より理事候補、

細川護貞、尾閑秀夫、吉田友明、高橋正孝、大原慎二

#### 千葉県より理事候補、

松浦均、渡邊満之助、前田福三郎、大坪成彬、塙本清士郎、飯豊周二、佐藤栄一

#### 東京都より理事候補、

小宮山義孝、森川幸美

#### 神奈川県より理事候補、

相山武夫、吉岡文平、小林吉彦、岩宮浩

#### 静岡県より理事候補、

前川昭一、福田国三、南学正昭、齋田恭三、佐渡浩

新理事選任の後、総会を休憩とし別室において、ただちに理事会を開催、互選の結果、細川護貞氏を理事長に

選任した。

総会を再開し、細川新理事長議長となり、規約細則第2条第2項に従い、学識理事、監事候補の氏名を発表、次記の諸氏が承認された。

#### ●学識理事

中井文治、内田盛雄、新井安寿、紅露昭通、河西幹一、藤井英男

#### ●監事

緒方太郎、玉井英二

#### 第5号議案

「(財)日本ゴルフ協会理事6名、監事1名の推薦に関する件」

第4号議案と同様、規約細則第2条第2項に基づき細川議長、候補者名を発表し、これを承認した。

理事候補 細川護貞、中井文治、古賀始、松浦均、尾閑秀夫、小宮山義孝

監事候補 緒方太郎

以上をもって、総会の議事を終了、細川議長11時20分閉会を宣した。

平成9年2月20日

議事録確認署名者

議長 細川護貞(印)  
中井文治(印)  
楠本陽一郎(印)

## 平成9年度 第1回理事会 議事録

日 時 平成9年2月20日(木)

午後12時30分

場 所 ホテルニューオータニ 翔の間

出席者 細川理事長

伊藤文吉、斎藤文志郎、横山嘉一、渡邊健三、赤羽功、加藤邦太郎、山田六一、田中經策、福田彰、小山祐一、桑原正明、太田哲男、福嶋寿克、広中三男、神場多巳一、

# 総会・常務理事会・理事会・分科委員会

ハンディキャップ委員長 渡邊満之助

コース・レート委員長 大原慎二

月例委員長 斎藤文志郎

ジュニア育成委員長 紅露昭通

広報委員長 高橋正孝

税対策委員長 小宮山義孝

グリーン委員長 古賀始

コース選定委員長 尾閑秀夫

体協部会委員長 内田盛雄

尚、今年度より、分科委員長会議を適宜開催することとし、座長に尾閑常務理事が就任することとなった。

#### 3. 平成9年度分科委員選任の件

選任方法を踏ったところ、委員長会議に一任するところとなり、理事会終了後ただちに会議を開催し、協議決定することとなった。

#### 4. (財)日本ゴルフ協会平成9年度分科委員候補選任の件

選任方法を踏ったところ理事長、副理事長一任となり次記の諸氏を指名、これを承認した。

副理事長 中井文治

古賀始  
松浦均

常務理事 相山武夫、赤羽功、

海老原亜久寿、藤井英男、福田彰、小宮山義孝、楠本陽一郎、桑原正明、前川昭一、尾閑秀夫、斎藤文志郎、

滝沢武、田中經策、内田盛雄、渡邊満之助、吉田友明

第二次特別委員会の「答申書」に基づき、組織の拡大、強化、整備等の具体案を策定する標題の特別委員会設置が提案され、全員異議なくこれを承認、委員長に尾閑常務理事が選任された。

#### 6. 後援競技の件

2月20日現在申請のあった次記諸競技の後援を承認した。

#### ●平成9年度第17回東日本パブリックアマチュアゴルフ選手権大会

主 催: 日本パブリックゴルフ協会  
予選日: 平成9年4月17日～18日

会 場: 那須野が原カントリークラブ  
他16会場

決勝日: 平成9年6月14日～15日

会 場: 小淵沢カントリークラブ

#### ●第16回茨城県社会人アマチュアゴルフ選手権大会

主 催: 茨城新聞社  
予選日: 平成9年3月24日他

会 場: アジア下館カントリー倶楽部  
他3会場  
決勝日: 平成9年5月14日～15日

会 場: 水戸グリーンカントリークラブ  
山方コース

#### ●'97神奈川県アマチュアゴルフ選手権大会

主 催: 神奈川県ゴルフ協会  
予選日: 平成9年4月3日他

会 場: 東京カントリー倶楽部  
他7会場  
準決勝: 平成9年5月19日他

会 場: 大厚木カントリー倶楽部  
他2会場  
決勝日: 平成9年6月27日

会 場: 程ヶ谷カントリー倶楽部

#### ●第9回埼玉県ダブルスゴルフ選手権大会

主 催: 埼玉新聞社  
開催日: 平成9年3月28日

会 場: 越生ゴルフクラブ

#### ●第6回埼玉県ゴルフ選手権大会

主 催: 埼玉ゴルフ協会  
予選日: 平成9年3月12日他

会 場: 森林公園ゴルフ倶楽部  
他1会場  
決勝日: 平成9年4月18日

会 場: 美里ゴルフ倶楽部

#### ●第7回埼玉県ジュニア・ゴルフ選手権大会

主 催: 埼玉新聞社  
開催日: 平成9年5月12日

会 場: ノーザンカントリークラブ  
錦ヶ原ゴルフ場

#### ●第14回埼玉県ミドルゴルフ選手権大会

主 催: 埼玉新聞社  
予選日: 平成9年5月16日他

会 場: 大宮国際カントリークラブ  
他1会場  
決勝日: 平成9年6月24日

会 場: 岡部サンカントリークラブ  
岡部コース

#### ●第11回埼玉県シニアゴルフ選手権大会

# 総会・常務理事会・理事会・分科委員会

主 催：埼玉新聞社  
開催日：平成9年5月16日

会 場：大宮国際カントリークラブ  
とき・ひばりコース

●第14回埼玉県女子アマチュアゴルフ選手権大会

主 催：埼玉新聞社

開催日：平成9年6月9日

会 場：高麗川カントリークラブ

●第19回埼玉県アマチュアゴルフ選手権大会

主 催：埼玉新聞社

予選日：平成9年7月14日他

会 場：鴻巣カントリークラブ  
他1会場

準決勝：平成9年9月8日他

会 場：高麗川カントリークラブ  
他1会場

●平成9年度 千葉県アマチュアゴルフ選手権予選

主 催：千葉県アマチュアゴルフ協会  
予選日：平成9年6月30日他

会 場：総武カントリークラブ  
総武コース 他3会場

決勝日：平成9年8月4日、5日

会 場：新千葉カントリー倶楽部  
あさぎりコース

●第18回茨城オープンゴルフトーナメント

主 催：茨城新聞社

開催日：平成9年7月15日、16日

会 場：茨城ロイヤルカントリー倶楽部

7. (財)日本ゴルフ協会個人会員入会審査の件

2月20日現在申請のあった、八木秀憲氏他7名の入会審査を行い、これを承認、JGAに届けを提出することとした。

以上をもって、議事審議を終了、午後1時20分細川議長閉会を宣した。

平成9年2月20日

議事録確認署名者  
署名者 中井文治（印）  
伊藤文吉（印）

班編成とし、各委員の所属班が指示され、これを承認した。

なお、ルーリング担当については、従来の小委員会を更に充実させるため、田村圭司氏に副委員長を依頼し、担当委員も増員することとした。

## 第1回競技委員会議事録

日 時 平成9年3月5日（水）

正午

場 所 ダイヤモンドホテル 会議室

出席者 新井委員長

尾閑前委員長

平山、野口、山田（八）、田村各副委員長、山崎（滋）、田中、織戸、安藤（實）、飯塚、飯盛、福川、魚本、牛込、梅沢、大久保、大島、荻原、小澤、織戸、片倉、金久保、

亀井、亀ヶ谷、国吉、小池、小泉、小山、島村、代田、鈴木、関戸、関谷、竹下、田中、田辺、戸田、土井、中沢、西村、野口、野本、馬場、平山、発知、本多、松井、三石、宮本、本吉、矢野、山崎（博）、山田（武）、山田（保）、山部、吉野、渡辺各委員

河西顧問

ルーリング 田村圭司副委員長、

1班より 山崎滋男、平田成二、亀井

通夫、国吉敏夫、山田保

太郎各委員

2班より 野口正三、田中克幸、発知

洋一、小山敏男、関戸新

一郎、宮本忠志各委員

3班より 安藤 功、安藤 實、梅沢

文雄、魚本司朗、吉野統

治各委員

### 3. 今年度活動方針について

新井委員長より次記の活動方針が示され、全委員これを確認した。

「KGAは60年の伝統と歴史を誇る団体であり、多くの先輩のゴルフに対する情熱と尽力が今日のゴルフ界の繁栄をもたらせてた。私たちは競技委員として、今後、主催競技会場となるゴルフ倶楽部との打ち合わせ、コースチェック、運営など完璧を期し、全競技委員が同一方法、同一基準でそれを行ない主催競技の権威を高めたい。また、競技委員として要求される専門知識を身につけ研鑽していきたい。」

4. 主催競技担当班、競技委員長、副委員長について

事務局長より机上配布資料をもとに詳細な説明がなされ、全委員これを

# 総会・常務理事会・理事会・分科委員会

承認した。  
5. 主催競技実施規定について

事務局長より机上配布資料をもとに詳細な説明がなされ、関東アマチュア、関東女子、関東倶楽部対抗、関東学生ゴルフ連盟推薦選手を、昨年の実績で延べ71名承認している。ただし、これらの参加者には、JGAハンディキャップ所得の有無、ならびにその制限を設けていない点で、加盟倶楽部会員の参加資格と矛盾している。これらの選手は、たとえいわゆるノンメンバでもJGA個人会員になれば、ハンディキャップを取得できるわけで、参加資格を厳密、平等にする意味でも、平成10年度より、全ての参加選手にJGAハンディキャップの制限を設けることとし、JGA競技委員会に報告、提案することとした。

「プレーのベースについて」の項目は、当面はJGAの採用実績を見て、これから検討事項とするため削除する。  
注意事項第4項「プレーの不当な遅延については、ペナルティを課す」は規則に定められており、注意事項ではないため削除する。

### 7. アンダーハンディキャップ競技、関東オープン競技について

事務局長より次記提案がなされ、全委員これを承認した。  
「両競技については、常務理事会、特別委員会にて開催方法等の検討を行っているが、まだ、結論には達していない。今後行われる正副委員長会議に一任されたい。」

### 8. 関東アマ、関東女子競技への後援競技シード選手について

事務局長より机上配布資料をもとに詳細な説明の後、活発な意見交換がなされ、全委員次記のとうり確認した。

JGA競技委員会では、JGA、各地区連盟主催競技について、加盟倶楽部会員以外についても参加させる方向で検討を始めている。そのことは、会員以外のJGAハンディ

キャップの取得も関わる。現在、KGAは、関東アマ、関東女子両競技に、関東ジュニア成績上位者、後援競技成績上位者、ならびに関東学生ゴルフ連盟推薦選手を、昨年の実績で延べ71名承認している。

ただし、これらの参加者には、JGAハンディキャップ所得の有無、ならびにその制限を設けていない点で、加盟倶楽部会員の参加資格と矛盾している。これらの選手は、たとえいわゆるノンメンバでもJGA個人会員になれば、ハンディキャップを取得できるわけで、参加資格を厳密、平等にする意味でも、平成10年度より、全ての参加選手にJGAハンディキャップの制限を設けることとし、JGA競技委員会に報告、提案することとした。

「プレーのベースについて」の項目は、当面はJGAの採用実績を見て、これから検討事項とするため削除する。  
注意事項第4項「プレーの不当な遅延については、ペナルティを課す」は規則に定められており、注意事項ではないため削除する。

### 9. 1997年新裁定および改訂裁定について

田村ルーリング担当副委員長より、本年度の新裁定および改訂裁定について、机上配布資料をもとに詳細な説明がなされ、活発な質疑応答がなされた。

## 第1回コース・レート委員会議事録

日 時 平成9年3月17日（月）

正午

場 所 KGA 会議室

出席者 大原委員長、新井前委員長

岡田、前川副委員長

阪田、生田、大久保、中野、佐久間、森、平本、松岡、吉田、和田各委員

福田、渡邊顧問

### —討議及び決議事項—

討議に先立ち、新井安寿氏より委員長退任の挨拶がなされた。

#### 1.新任委員について

事務局長より、新任委員ならびに新任委員長選任の経緯について報告がなされ、全委員の紹介がなされた。

#### 2.副委員長選任について

大原委員長選任方法を踏ったところ、委員長一任となり、岡田光正、前川武英の両氏を副委員長、顧問に福田彰、渡邊満之助両氏を各々委嘱した。

#### 3.今年度活動方針について

事務局長より、総会において細川理事長より示された9年度活動方針について詳細な説明がなされ、各委員これを確認した。

#### 4.査定スケジュールについて

3月17日現在、申請のあるヨネックスカントリークラブ以下7倶楽部について以下のとうり決定した。

#### レイクウッドゴルフクラブ

4月21日（月）9時スタート  
ピートダイゴルフクラブVIPコース  
5月23日（金）9時スタート

#### 松ヶ峯カントリークラブ

5月29日（木）8時スタート  
ヨネックス寺泊カントリークラブ  
5月30日（金）8時スタート

#### ミサワカーディナルゴルフクラブ

7月1日（火）8時スタート  
阿賀高原ゴルフ倶楽部  
7月2日（水）8時スタート

#### 梅ノ郷ゴルフ倶楽部

7月18日（金）9時スタート

5.サンヒルズカントリークラブよりの申請について  
平成5年8月10日の委員会にて、仮レ

# 総会・常務理事会・理事会・分科委員会

ートを査定した同倶楽部より、正式レートへの変更依頼書が届き、内容を慎重審議の結果、以下のとおり正式レートとすることを確認した。

「査定当時、正式オープン前であったこと、コースの芝の状態が不良であったことにより、仮レートとしたが、その後、正式オープン後3年経過したこと、芝の状態も査定時の指示どおりになっていること、ならびに、コースの改造を行っていないこととの確認ができたため、本日付けで正式レートとすることとした。」

6. (社)日本パブリックゴルフ場事業協会よりの申請について  
事務局より机上配布資料をもとに詳細な説明がなされ、全委員これを承認した。

「昨年度、パブリック協会の通産省補助金事業の一環として、関東地区では、同協会加盟の3ゴルフ場の査定を行った。今年度は、通産省の補助金交付を受けず、同協会が独自でコース・レート査定を希望する会員ゴルフ場に対し、補助を行いたいとのことである。現在、関東地区には20ゴルフ場が加盟しており、そのうち、未査定のゴルフ場は10倶楽部である。今後3年計画で加盟ゴルフ場の査定を行う旨の計画書ならびに、査定料金の再検討の依頼書が届いた。同時にJGAハンディキャップの実施を検討していることもあり、査定料金等の見直しを望まれており、具体案作成については、正副委員長会議に一任されたい。」

7. 女子のコース・レート査定について  
渡邊顧問より、3月31日開催のJGAハンディキャップ委員会にて討議される女子コース・レート査定について詳細な説明の後、活発な意見交換がなされ、全委員次回のとおり確認した。  
「從来の決定どおり、女子のコー

ス・レートの査定は行わない。もし必要ならば、現規定により、第4のティとして、査定を行うことを今後検討したい。」

## 平成9年度 第1回ハンディキャップ 委員会議事録

日 時 平成9年3月10日(月)

正午

場 所 ダイヤモンドホテル プラザビル205号室

出席者 渡邊委員長

原田、宮元、大原各副委員長

平山、福田、伏見、濱崎、早川、飯島、今井、稻川、亀田、加藤、三宅、永田、成宮、西、関根、田原、寺田、佃、八木、山田各委員

### —討議及び決議事項—

討議に先立ち、佐藤事務局長より委員長、委員の選任経緯が報告され、全委員の紹介がなされた。

### 1. 平成9年度委員会構成について

渡邊委員長より、次記の諸氏が副委員長として指名委嘱され、これを確認した。

原田英正(千葉県、1班担当)、成宮秋良(神奈川県、2班担当)、宮元昭雄(栃木県、3班担当)、斎藤文志郎(新潟県、4班担当)、稻川廣政(山梨県、5班担当)

尚、大原慎二氏は、コースレート委員長に新任されたため、顧問として就任した。

2. 今年度の基本活動方針について  
渡邊委員長より、机上資料をもとに説明がなされた。

全委員による総合委員会は、年2回

程度の開催とする。  
正・副委員長会議ならびに班別、県別の委員会については随時開催とする。正・副委員長会議では体協問題を含めた基本事項を、班別・県別委員会においては、JGAハンディキャップ規定の採用・実施と、「G-sys」の普及促進活動にあたる。

競技委員会と協力して、アンダーハンディキャップ競技のさらなる活性化に努める。

### 3. 都道府県競技団体所属会員のHdcpについて

渡邊委員長より次記の説明がなされた。

Hdcpの算定には「G-sys」導入設置を条件とし、その規定の遵守や査定・調整に関する内規等については、各県別委員が打ち合わせ等に参画していただきたい。

尚、詳細については、体協部会体協委員会との打ち合わせにより決めたい。

### 4. 「G-sys」の普及について

昨年度より準会員登録できることになったゴルフ場所属のゴルファーに対する査定問題、体協会員の査定問題等を考慮し、加盟倶楽部への「G-sys」普及、推進活動にあたりたい。

### 5. その他

郵送方式のカード処理料改訂について

スコアカード郵送によるグリーンシステム方式に関して、スタッフ社側の事務処理量の増加、人件費の増加に伴ない、4月1日より処理料の値上げ申請があり、慎重に審議を行ないこれを承認し、関係委員会に上程することとした。また、これを機に「G-sys」への移行を積極的に勧奨することとした。

# 総会・常務理事会・理事会・分科委員会

## G-sys導入倶楽部のスコアカード提出状況について

佐藤事務局長より、机上資料をもとに詳細な説明がなされた。  
「採用倶楽部のカード提出枚数ははじけるように増加しており、ハンディキャップ委員会等の活動状況が盛んになってきている証拠と考えられる。」

以上、議題審議終了後、新任委員を対象に、「G-sys」のデモンストレーションを行なった。

## 平成8年度 第10回月例競技 委員会議事録

日 時 平成9年3月3日(月)

12時30分

場 所 KGA会議室

出席者 斎藤委員長  
山崎副委員長  
平山、松井、額賀、岡野、西野、桜井、嶋田各委員  
学生連盟委員

### —討議及び決議事項—

### 1. 2月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

「冬としては暖かい天候に恵まれ、コースコンディション、グリーン共に最高の状態で競技は行なわれた。エントリー数は少なかったものの、上位のポイント争いが熾烈で、下位の選手の追い込みが目立った。その中で、失格者が3名も出たのは大変残念であった。」

### エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成8年2月14日(金)  
コース 東京ゴルフ倶楽部  
エントリー 131名  
(男子85名、女子46名)  
欠席者数 事前連絡3名

### 副委員長選任の件

斎藤委員長より次記の2名が指名委嘱され、全委員これを確認した。  
山崎宣彦、川島英雄  
また、平成8年度をもって、本吉委員の退任が確認された。

## 平成8年度 第11回月例競技 委員会議事録

日 時 平成9年4月4日(金)  
12時30分  
場 所 KGA会議室  
出席者 斎藤委員長  
山崎副委員長  
平山、市川、小久保、小池、松井、額賀、岡野、桜井、嶋田各委員  
学生連盟委員

### —討議及び決議事項—

### 1. 3月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

「今年度の女子決勝会場ということで、女子の参加者が大変多く、プレーの進行が心配されたが、最高の天気とコースコンディション、倶楽部側の素早い対応もあり、順調に進行することができた。女子の上位成績は接戦であったものの、コースセッティングの影響もあってか、下位には3桁の選手が出るなど、全体的にスコアは低調であった。男子は阪田選手が70ストロークで優勝をした。」

### エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成9年3月28日(金)  
コース 千葉カントリークラブ  
野田コース  
エントリー 175名  
(男子93名、女子82名)  
欠席者数 事前連絡7名  
(男子3名、女子4名)  
当日連絡2名  
(男子1名、女子1名)  
無断欠席 1名(男子)  
出場者数 165名  
(男子88名、女子77名)  
科罰者 1名(女子=遅刻)  
ミーティング欠席 0名

# 総会・常務理事会・理事会・分科委員会

失格者 0名  
棄権者 1名（女子）  
2. 3月出場資格者報告の件

男子476名（+8）女子179名（+4）  
4月出場資格者確認の件  
Hdcp処理未着の為、次回委員会にて報告

3. 4月のテーマ  
●ボールマークの修復の徹底  
●使用しないティ・グラウンドの歩行を禁止する  
●挨拶の励行

4. その他  
●関東アマ、関東女子決勝有資格者確認の件  
別紙のとおり確認した。今年度は男女共に新しい選手の台頭が目立った。また、男子は上位3名が僅差で競り合い、下位からも5名の選手が最終月入り、例年にない接戦の展開であった。  
●関東学生ゴルフ連盟よりの推薦者承認の件  
関東学生ゴルフ連盟より推薦の男子3名、女子5名について、別紙資料をもとに審議を行ない、これを承認した。

●平成8年度総括  
斎藤委員長より、平成8年度の総括がなされた。  
「諸氏のご協力、ご尽力により平成8年度の月例競技会を無事終了することができた。選手各自のマナー等、最近数年間で大分改善されたものの、他の競技時には徹底されていないようである。また、毎月の初参加者数も増加の傾向にあるため、月例競技の主旨、目的を今後も徹底して指導していく必要がある。」

## 平成9年度第1回ジュニア育成委員会議事録

日 時 平成9年3月18日（火）

14時

場 所 ダイヤモンドホテルプラザビル202号室

出席者 紅露委員長

川島、本吉、大久保、大鷲各副委員長  
赤澤、藤巻、藤園、広瀬、市川、池頭、樋川、樋富、石田、北本、小池、小嶋、桑田、栗原、中島、野村、荻原、斎藤、佐藤、鶴田、塙山、東福寺、山下、山崎、米澤、岩田、田村、矢島各委員

### —討議及び決議事項—

討議に先立ち佐藤事務局長より、委員長、委員の選任経緯が報告され、全委員の紹介がなされた。

### 1. 今年度活動方針について

紅露委員長より今年度も引き続き、次記3事業を活動の中心とする方針が示され、全委員これを確認した。

- 関東ジュニアゴルフ選手権
- ②KGA主催ジュニアゴルフスクール
- ③加盟倶楽部におけるジュニア教室

毎年、この三本柱を主軸に活動を行なっているが、今年度も常に新しいアイデアを取り入れた活動を行なっていきたいとの方針が紅露委員長より示され、全委員これを確認した。また、佐藤事務局長より平成11年度より正式種目となる団体に関する件、それに伴うHdcp取得の件について詳細な説明がなされ、全委員これを確認した。

2. 副委員長選任の件  
委員長より次記の諸氏が指名委嘱され、これを承認した。

川島英雄、本吉正彦、大久保蕃、大鷲俊朗、田辺嘉一  
(全員留任)

### 3. 班編成について

別紙資料のように3班に分け、スクール・競技等を担当する事を確認した。また、各委員の分担は基本的に別紙のとおりとするものの、便宜的なものであり、出欠状況に応じ班編成にこだわらず、協力いただく様、要請がなされた。

### 4. 春季ジュニアゴルフスクールについて

日程・会場の確認、また別紙資料をもとにスケジュール、指導内容について詳細な説明がなされ、全委員これを確認した。

5. 夏季ジュニアゴルフスクールについて  
別紙資料の日程・会場を予定、全委員これを確認した。

尚、紅露委員長より今年度ジュニアスクールのテーマとして次記2項が挙げられ、全委員これを確認した。

- あいさつの励行
- ルールを覚えよう

### 6. リトルジュニアゴルフ大会について

11歳以下のJGAジュニア会員を対象とした競技形式の大会として、平成7年度より、若洲ゴルフリンクスにて開催しているが、今年度も別紙の日程を予定、確認をした。

また本大会はマスコミ関係の注目を浴び、ジュニア紹介（TV出演）の依頼なども多いが、ジュニア育成の目的に、かなわぬものには協力しない事を確認した。

7. 関東ジュニア予選・決勝競技について  
今年度より予選競技は、祭日（海の日）が日程に重なるため程ヶ谷以外の6会場は7月22日（火）に同時に開催されることになった。高ゴ連、スポーツ

# 総会・常務理事会・理事会・分科委員会

ニチと協議中ではあるが、ジュニア関係の競技は夏休みに集中しているため、日程の過密化は避けられない現状である。スクール同様、班編成にこだわらず、全委員のより一層の協力が必要であるとの要請が再度委員長よりなされ、全委員これを確認した。

また、昨年度より決勝会場でのギャラリーの入場を認め、好評であったが、昨年度の反省から、ギャラリーの服装、行動、身だしなみ等を厳重に注意していく事が確認された。

## 平成9年度 第1回広報委員会 議事録

日 時 平成9年3月11日(火)

午後4時

場 所 KGA会議室

出席者 高橋委員長、内田前委員長  
宮元副委員長  
石川、片山、塙田、杉山、和田、山田、吉川各委員

### —討議及び決議事項—

事務局長より、2月20日に開催された、平成9年第1回理事会及び委員長会議に

おいて、今年度の分科委員長及び新委員が選任されたとの報告があり、高橋委員長あいさつの後、順次議題審議を行った。

### 1. 今年度活動方針

高橋委員長より次記の方針が示され、全員確認した。

「2月20日の関東ゴルフ連盟総会において、細川理事長の活動方針、中井副理事長の予算編成基本方針が示され満場一致で承認された。本委員会もこの方針に従って活動していくことになる。

当委員会の具体的な活動は、機関誌「KGAニュース」を通じて、会員である各都県加盟倶楽部に情報伝達、意志疎通をはかり連携を強めたい。また、「魅力あるKGA」をアピールし、組織拡大に一助を果たすとともに、各分科委員会活動も紹介したい。主催競技のレポートは、從前どうり紙面構成の重要事であるが、マンネリ化しないように、斬新な切り口を心がけたい。

予算にすれば、今年度の広報活動費は、KGAニュース発行に1,000万円（年4回）、広報費に300万円となっ

ている。有効に活用したい。将来は、インターネットでホームページを開き、KGA活動のPRを展開することも当委員会で検討を始めた。

### 2. 副委員長選任の件

高橋委員長より、宮元昭雄氏（留任）が指名委嘱され、これを承認した。

### 3. KGAニュースNo.58企画案

下記の事務局案を承認し、取材編集を行うこととなった。

- ①細川理事長、今年度活動方針
- ②関東月例における、JGAハンディキャップ

- ③春季ジュニア・ゴルフスクール
- ④体協委員会の報告

- ⑤総会、理事会、各分科委員会、新規加盟倶楽部紹介、お知らせ

- ⑥その他  
連載企画については、次回委員会にて検討することとなった。

4. 今年度競技取材担当委員について  
別紙のように前期の担当を決め、各主催競技等の取材、編集にあたることを確認した。

## 月例競技成績表

### 〔平成8年度12月月例〕 12月2日（月）茨城ゴルフ倶楽部／東コース

順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
1	小川 透	岡部サチ	36	35	71
2	中島 常実	東 松 苑	38	34	72
2	笠川喜久男	鷹 之 台	36	36	72
4	石井 保行	東 名 原	35	38	73
5	小久保 良夫	藤 岡	36	38	74
5	辻 幸一	岡部サチ	38	36	74
5	加藤 一彦	千 葉	37	37	74

コースレート73.3

### 〔平成9年度1月月例〕 1月20日（月）程ヶ谷カントリー倶楽部

順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
1	藤崎 和典	富士・笠間	36	36	72
1	加藤 一彦	千 葉	39	33	72
1	石井 直人	奏 野	37	35	72
4	中野 正義	霞ヶ浦出島	35	38	73
4	小川 透	岡部サチ	37	36	73
4	佐藤 浩三	千葉スプリングス	35	38	73
4	柳澤 信吾	横 浜	37	36	73

コースレート71.8

\*1位タイの藤崎、加藤、石井各氏は2月月例にてプレーオフを行ない優勝者を決定する。

順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
1	河中 香織	サ 二 一	37	38	75
2	渡辺 恵子	高 根	39	37	76

コースレート69.6

## 月例競技成績表

〔平成9年度2月月例〕 2月14日(金) 東京ゴルフ倶楽部

順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
1	日暮 俊明	扶 桑	37	33	70
2	徳永 雅洋	ザ・レイクス	37	34	71
3	笠川喜久男	瀛 之 台	38	34	72
3	宮 辰夫	習 志 野	36	36	72
5	尾崎 光一	美 野 原	34	39	73
5	小川 透	岡部チサン	36	37	73
5	中島 広行	伊豆にらやま	34	39	73

※1月度のプレーオフは石井直人選手の優勝となりました。 コースレート72.2

順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
1	大塚 幸子	袖 ケ 浦	41	37	78
2	渡辺 恵子	高 横	42	37	79
2	加藤 勝栄	相 模 原	37	42	79

コースレート71.1

〔平成9年度3月月例〕 3月28日(金) 千葉カントリークラブ・野田コース

順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
1	阪田 苗男	袖 ケ 浦	34	36	70
2	木村 隆穂	泉月・佐野	36	37	73
2	上重 優	ザ・レイクス	37	36	73
2	青藤太津規	扶 桑	36	37	73
2	室野 歩	新 千 葉	34	39	73
2	宮 辰夫	習 志 野	39	34	73

コースレート70.3

順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
1	三木恵美子	富 士	39	40	79
2	加藤 勝栄	相 模 原	41	39	80
2	川原 由緒	浅 見	39	41	80

コースレート68.9

## お知らせ

### —永年勤続表彰—



3人の局員が、総会席上10年の永年勤続表彰を受けました。

左より 大森直恵・佐藤 清・中静利修

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は、次記のとおりです。訂正加筆をお願いいたします。

●大宮ゴルフコース  
(新) 甘糟 澄子

#### 倶楽部名

●レインボーヒルズカントリークラブ 豊里コース  
(旧) 銚子カントリー倶楽部

#### 理事長

●イーストヒルゴルフクラブ  
(新) 中村 正秀 (旧) 平山 敏雄

●都留カントリークラブ

(新) 松岡 誠司 (旧) 畠田 弘

●ガーデンゴルフ倶楽部

(新) 柴田 邦夫 (旧) 田中保一郎

●我孫子ゴルフ倶楽部

(新) 木村 喜助 (旧) 小西 達司

●朝霧カントリークラブ

(新) 天田 満明 (旧) 天田 勇

#### 倶楽部代表者

●都留カントリークラブ  
(新) 松岡 誠司 (旧) 畠田 弘

●我孫子ゴルフ倶楽部

(新) 木村 喜助 (旧) 小西 達司

●本厚木カントリークラブ

(新) 今井 正雄 (旧) 片山仁八郎

●朝霧カントリークラブ

(新) 天田 満明 (旧) 天田 勇

#### 支配人

●下田城カントリー倶楽部  
(新) 安井 新吉 (旧) 古川 潔

●南長野ゴルフ倶楽部

(新) 宮坂 公久 (旧) 宮川 健

●相模湖カントリークラブ

(新) 曽根 博 (旧) 曽根 博 (代行)

#### 倶楽部所在地

《訂正》

●甲斐駒カントリークラブ

〒408-03 山梨県北巨摩郡武川村黒沢2149

Tel 0551-26-3331/Fax 0551-26-2177

●南長野カントリー倶楽部

Fax 0262-66-2040

#### 休場日

●梅ノ郷ゴルフ倶楽部 月曜日

#### 協会員

●山梨県ゴルフ連盟

〒400 甲府市小松町383 (有)木村企画内

Tel 0552-52-8136

Fax 0552-52-7822

平成9年5月1日発行 KGA ニュース No.58

発行所／関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル8F TEL.(03) 5275-0391

発行人／細川 譲 編集／広報委員会